

INTERCITY MEETING

2011～2012年度
国際ロータリー
第2760地区西三河中分区

Intercity Meeting

報告書

会員増強とクラブの活性化



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

開催日

平成24年2月18日(土)

会 場

名鉄トヨタホテル7階 金扇の間

ホストクラブ

豊田ロータリークラブ

参加登録クラブ

岡崎ロータリークラブ 岡崎南ロータリークラブ 豊田西ロータリークラブ
岡崎東ロータリークラブ 豊田東ロータリークラブ 岡崎城南ロータリークラブ
豊田三好ロータリークラブ 豊田中ロータリークラブ 豊田ロータリークラブ

目 次

開会式

実行委員長挨拶	I・M 実行委員長	永田 一夫 3
ホストクラブ会長歓迎の挨拶	ホストクラブ会長	梅村 正明 3
ガバナー挨拶	RI第2760地区ガバナー	松前 憲典 4

活動報告 テーマ 「クラブ活性化のために」

ガバナー補佐報告	西三河中分区ガバナー補佐	横山 真久 5
各クラブ活動紹介			
① 豊田西ロータリークラブ	会長	中川 俊治 7
② 豊田中ロータリークラブ	会長	浅岡多田志 9
③ 岡崎南ロータリークラブ	会長	小久保文雄 11
④ 岡崎城南ロータリークラブ	会長	桐渕 利次 13
ガバナー補佐まとめ	西三河中分区ガバナー補佐	横山 真久 15

閉会式

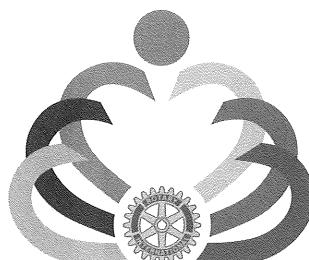
次年度ガバナー補佐挨拶	岡崎南ロータリークラブ	本間 育 16
ガバナー講評	RI第2760地区ガバナー	松前 憲典 16
懇親会		 17

登録者名簿

特別出席者ならびに地区委員 18
出席クラブ 18

組織図

西三河中分区I・M 実行委員会 組織図 22
---------------------	----------



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

INTERCITY MEETING

2011~2012年度

国際ロータリー

第2760地区西三河中分区

式典

開催日 平成24年2月18日(土)

会場 名鉄トヨタホテル7階 金扇の間

INTERCITY MEETING



開会式

総合司会／西三河中分区副幹事 村上 雅則

点鐘

国歌斉唱・ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱

実行委員長挨拶

ホストクラブ会長歓迎の挨拶

来賓・特別出席者・参加クラブ紹介

ガバナー挨拶

来賓挨拶

西三河中分区ガバナー補佐

ソングリーダー

I・M実行委員長

西三河中分区幹事

RI第2760地区ガバナー

豊田市長

横山 真久

荒木 徹

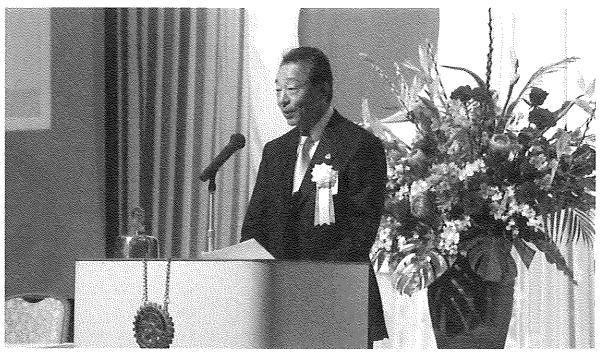
永田 一夫

梅村 正明

岡田 勝美

松前 憲典

鈴木 公平



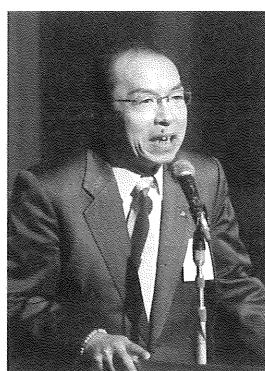
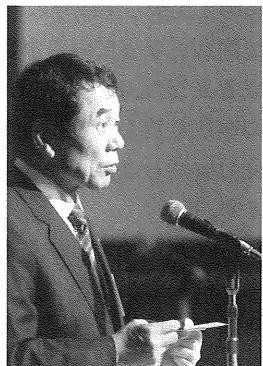


活動報告

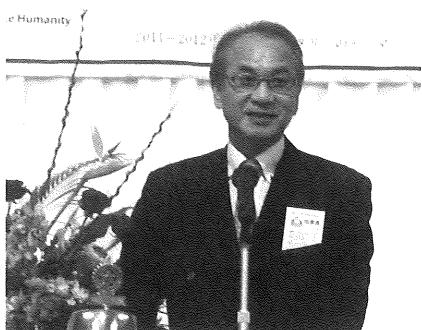
テーマ「クラブ活性化のために』

司会／西三河中分区副幹事 鈴木 秀和

ガバナー補佐報告	西三河中分区ガバナー補佐	横山 真久
各クラブ活動紹介		
① 豊田西ロータリークラブ	会長 中川 俊治	
② 豊田中ロータリークラブ	会長 浅岡多田志	
③ 岡崎南ロータリークラブ	会長 小久保文雄	
④ 岡崎城南ロータリークラブ	会長 桐渕 利次	
まとめ	西三河中分区ガバナー補佐	横山 真久



閉会式



総合司会／西三河中分区副幹事 村上 雅則

次年度ガバナー補佐紹介	西三河中分区ガバナー補佐	横山 真久
次年度ガバナー補佐挨拶	岡崎南ロータリークラブ	本間 穎
講評	RI 第 2760 地区ガバナー	松前 憲典
点鐘	西三河中分区ガバナー補佐	横山 真久
諸事御案内	西三河中分区副幹事	村上 雅則

実行委員長挨拶

I・M実行委員長 水田 一夫



早朝より、ご来賓の「豊田市長：鈴木公平様」はじめ、多数の会員にご参加いただきありがとうございます。

本日のインターナショナルミーティングには、次年度の役員予定者の方と入会3年未満の方に参加していただいているます。

ロータリークラブに入会された経緯はさまざまだと思います。私を含め、全てのロータリアンが、ロータリークラブの理念を理解した上で入会されたとは思っていません。会員歴の长短にかかわらず、会員として活動経験を積まれていく中で入会時に期待したこととのギャップを感じている方、また期待した通りのクラブの活動であったと感じている方、様々ではないかと思います。

しかし、大切なことは「継続は力なり」と古くから言われているように、長くロータリークラブの会員として活動を続けること、そしてロータリークラブの活動理念に基づいて自分の思いを会の活動に反映していくこと、それが大切ではないかと思います。今日は4クラブの方に活動内容の報告をいただきます。

その報告の中から、参加の皆様が、「ロータリー活動の理念と意義」を大いに学んでいただき、また西三河中分区の各クラブが今後の活動を継続していく上で、よりよく変化し、いっそうのクラブ活性化を図っていくための一助になれば幸いです。

本日のインターナショナルミーティングに対し、担当クラブとして、「簡素にして実の有る会」にすべく豊田ロータリークラブ一丸となって、精一杯の準備をしたつもりです。不行き届きの点がありましたら、ロータリアンの友情でご容赦いただきたいと思います。

又、懇親会では、大いに意見交換をしていただき、お互の親睦を深めていただきたいと思います。

簡単ではありますが、実行委員長としての挨拶とさせていただきます。

ホストクラブ会長 歓迎の挨拶

ホストクラブ会長 梅村 正明



本年度西三河中分区インターナショナルミーティングを開催いたしましたところ、豊田市長 鈴木公平様、松前ガバナーをはじめとする特別出席者の皆様、そして分区内の多くのロータリアンの方々に御出席いただき、主管クラブを代表いたしまして御礼申し上げます。

特に鈴木市長様には任期最後の日という特別な日に御出席をいただき、任期12年の期間中に起きた多くの思い出を語っていただきました。特に任期中に平成の大合併により三好町(当時)を除く東西加茂郡等6町村を合併し面積的には愛知県の約20%を占める現在の豊田市が形造られましたが、旧来の市街地中心の都市に広大な山間部が加わったため、行政システムの構築にはかなり苦労をされたようです。更に就任当時と比較して昨今の市民意識も変化しており、今の豊田市で問題となっている事柄を御指摘いただく等のお話をいただきました。我々も豊田市民の一員として、また地域社会への奉仕を旨とするロータリアンの一員としてこの御指摘を充分留意しながら今後の奉仕活動を続けていきたいと考えます。

インターナショナルミーティングのメイン事業として分区内4クラブの会長様方から各クラブに於ける活動内容について御報告をいただきました。豊田地区内2クラブからは会員増強に関する報告、岡崎市内2クラブからは国際交流を中心とした活動報告で、今後のクラブ活動計画作成に当たって大変参考になるお話ばかりでした。特に岡崎地区2クラブの活動では海外クラブとの交流も含めて国際的な活動が地域の特性を生かして活発に行われていること、またこのような事業が長い期間にわたり無理なく着実に進められている状況を明快にお教えいただきました。当クラブも創立50周年を超えて、今後の活動のあり方を模索している中で大いに参考とさせていただきたいと考えます。

私ども豊田クラブとしましては横山ガバナー補佐の御指導のもと、簡素でコンパクトなインターナショナルミーティングをめざし、会員一同力を合わせて運営を行いました。なにぶんにも不慣れなため失礼な点も多く、御出席いただきました各クラブ、各ロータリアンに御迷惑をおかけした点につきまして深くお詫びを申し上げます。しかしながらこのようなつたない運営にもかかわらず多くの皆様方には最後までご参加いただき、過分なお褒めのお言葉までいただきました。これは皆様方からの友情の表れと深く感謝し、御礼の御挨拶といたします。大変有り難うございました。

RI第2760地区ガバナー挨拶

RI第2760地区ガバナー 松前 憲典



RI第2760地区のロータリアンの皆様におかれましては、つがなく新年をお迎えになられ、お慶び申し上げます。

昨年はガバナー公式訪問と地区大会の開催にあたり、多大なるご理解とご支援を賜りました。82クラブ訪問の節は温かいご歓迎をいただき、ガバナー、終生忘れることが出来ません。心よりお礼を申し上げます。

さて、RI第2760地区には8分区あります。各分区がインターシティミーティングを開催していただき、研修と親睦でロータリーの活性化を進めて下さることに敬意を表します。1月はロータリー理解推進月間でありました。ロータリーを楽しむには、ロータリーを知ることが必要であります。「親睦」と「奉仕」のバランスのとれた活動は、ロータリーを理解することから始まると言われています。

ロータリーは奉仕の精神から成り立っております。廣畠富雄RI第2700地区パストガバナーは「ロータリーの心」をESSで表現されております。

EはEnjoy(楽しむ) 毎週の例会で地域の職業を代表する会員同士が、信頼感を高めながら楽しむ。

一つ目のSはStudy(学ぶ) ロータリーから人生哲学、職業倫理を学び、多くの会員から学び、自己研鑽し、人間性を高める。

二つ目のSはService(奉仕する) 思いやりの心で、人のお役に立つ行動を、というロータリーの奉仕をごく自然に、自分の生活の中に生かし、世のため、人のために尽くす。これがロータリーの真の姿であると言われております。

ESS(Enjoy、Study、Service)とは私たちロータリー会員が互いに磨き合い、楽しみ、学び、奉仕することが人間の真の満足を充たす道になると思います。

片山パストガバナーは、ロータリーの目的は奉仕であり、奉仕は親睦から生まれ、親睦は出席から始まると述べられております。

◎ロータリーとは奉仕と親睦を大切に、人道的奉仕を行い、あらゆる職業において、高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親睦と平和の確立に寄与する職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体であります。

◎ロータリーの目的と2本柱を高く掲げる。

- ・奉仕と親睦を大切に
- ・ロータリアン自身の幅広い人間形成、人格淘汰、自己研鑽。

◎ロータリーでは奉仕の理想を掲げております。

◎ロータリーの哲学とはロータリーの奉仕の理念であります。

◎奉仕の理想とは、他人のことを思いやり、他人に役立とうとする思いやりの気持ちを実行に移す。

◎2つの奉仕の理念

①奉仕哲学 Service above self

②実践理念 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。

ロータリーの友2007年1月号、RI会長ウィリアム・ボイド氏は「ロータリーの根幹」と題して、次のように述べています。

『ロータリーは友情と親睦、国際理解と協力、職業倫理と地域社会における指導力など、多くのものから成り立っている。』

【ロータリーの根幹】

①ロータリーとは、奉仕に従事し、超我の奉仕を実践することであります。

②奉仕の五大部門(クラブ・職業・社会・国際・新世代)を中心奉仕のバランスとロータリーの目的を達成することであります。

③ロータリー財團を強化し、会員増強に努める。

【6人の著名なロータリアン】

①ポール・ハリス

②ドナルド・カーター

③ベンジャミン・フランク・コリンズ

④アーサー・フレデリック・シェルドン

⑤ハーバード・テーラー

⑥アーチC・クランフ

皆様と共にロータリーを勉強していきたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。奉仕の実践、晩年は社会に貢献することで、人生に一輪の花を咲かせようではありませんか。

西三河中分区ガバナー補佐報告



西三河中分区ガバナー補佐 横山 眞久

今年度西三河中分区のガバナー補佐をいたしています、豊田ロータリークラブの横山と申します。本日インターシティミーティングを開催いたしましたところ、先程まで豊田市長の鈴木公平様には、本日が市長としての任期の最後の日というさし迫ったなか、ご臨席いただき厚く御礼申し上げます。また、松前ガバナー・長谷川地区幹事・鹿島地区副幹事・そして当クラブの斎藤パストガバナーの皆様には、お忙しい中ご出席いただき有難うございます。また、各クラブ会員の皆様には多数ご出席いただき、ありがとうございます。今年度は私のわがままで、次年度の理事・役員の方と3年末満の新入会員を対象とさせていただきました。次年度の計画を立てるうえで、何か参考になればと考えた次第です。

昨年になりますが、今年度のRI会長と松前ガバナーの方針をお伝えする先導役として、9クラブを訪問させていただきました。本日は御礼と感想を報告という形で行わせていただきます。まずもって訪問に際しましては、各クラブとも鄭重なる対応をいただき感謝いたしております。特に記憶に残っていますのは、豊田西ロータリークラブにおかれましては、全員出席ということで、出席免除の方にもお電話し、動員されました。クラブ協議会においては、役員・理事・委員長の方は、代理は一人もなく全員出席で驚きました。また、岡崎ロータリークラブに訪問の際は、長老の方を大事にするという方針で、若い会員の方が長老の方の送り迎えをされている光景を目撃する機会にして感激しました。

例会運営については、それぞれに工夫をされています。席が固定しないよう毎月に指定席を決めたり、応援する野球チーム別や委員会別に席を決めているクラブもあります。

卓話については、豊田地区は年間で卓話担当者を決めているクラブがほとんどですが、岡崎地区では半年くらいにして、その後臨機応変に決めているクラブもあるようです。卓話料についての取り扱いも様々です。豊田ロータリークラブの例ですが、以前は、例えば私が卓話当番の時、自分で卓話をせずに外部の人に頼んだ場合、クラブから卓話料を払っていました。従って自分で卓話をするより、外部の人に依頼するケースが多いのが現実でした。財政的に厳しくなるのと、そもそも卓話は会員自身が工夫して自分自身ですべきだとの考え方方が主流となりました。クラブフォーラム等、クラブが主催する例会での外部からの卓話者は、クラブの会計から支払いますが、会員が担当する卓話で、外部の人を招いて卓話をもらう場合は、外部の卓話者への謝礼は個人で支払うこととしま

した。今では卓話料としては、クラブの支払いはほとんどありません。

卓話中の私語は、どのクラブでも困っている問題の一つです。特に年長者の私語は注意しにくいという意見が多くありました。色々お話ししたい人は、なるべく早く会場に来ていただき、たっぷりおしゃべりをして30分程度の卓話や、会長・幹事が話している間は我慢してもらいたいものです。

事業活動についてですが、岡崎地区においては海外との交流事業、また地域を巻き込んでの事業など、各クラブにおいて積極的に展開されています。本日は岡崎地区から2つのロータリークラブに事業活動報告をお願いしてあります。

RI会長方針、そしてガバナー方針であります会員増強について、当分区の途中経過及び年度末予測は次のとおりであります。

当分区に割り当てられた目標純増19名に対し、現状では純増8名、年度末予想では純増18名であり、ほぼ目標を達成できそうなところまでけています。特に岡崎ロータリークラブには大変頑張っていただいている。どうか各クラブにおかれましては、最後まで手を抜かないようお願いいたします。

豊田西ロータリークラブにおかれましては、他のクラブがこれまで会員数の減少に苦しむなか、常に100人前後の会員数を維持しております。本日はこの後、苦心談などをお話しいただくことになっています。

親睦活動は、会員同士の親密な友好関係をつくり出し、会員募集・退会防止に大きな役割を果たすものであると思います。豊田地区は各クラブに沢山の同好会がありますが、特に豊田中ロータリークラブは7つの同好会が存在し、交流の実をあげています。この後発表をお願いしてありますので、参考にしていただければと思います。

各クラブにおかれましては、クラブの将来計画・中長期計画づくりが始まっています。どのような事業をするのか、どのような運営をするのかも大切なことでありますが、どのような人が集まり、どのような雰囲気を持ったクラブにしていくのかも大切なことだと思います。

一例として、岡崎ロータリークラブにおかれでは、「風格あるクラブを目指す」をモットーとして活動されています。風格とは「人柄」とか「その人独特の味わい」という意味ですので、人柄の良い人が集まって、岡崎ロータリークラブ独特の良い味わいを

醸し出すクラブにしようということではないかと推察する次第です。取り組むべき事業とともに、目指すべきクラブのあり方についても検討していただければと思います。

私のガバナー補佐としてのもう一つの役割は、地区の国際奉仕委員会を担当することにあります。当分区におきましては、いくつかのクラブが海外との交流を通じて各種の援助事業をされています。また第2760地区においても、多くのクラブが同様の活動をしています。

クラブとしては「海外との交流事業は取り組んでいないが、気持ちはあるのでとりあえずお金は出します」というクラブからのお金を頂いて、地区の国際奉仕委員会が海外との交流活動をしています。

国際的な援助としては、ODA(政府開発援助)が有名です。日本国内ではODAというと、「無駄なことが多い」とか「企業のためのヒモ付き援助ではないか」といったマイナスイメージがありますが、私は必要なことだと思っています。近年の日本の財政状況から、残念ながらこの10年間で40%以上もカットされています。かつては世界一のODA大国でありましたが、今ではアメリカ・ドイツ・フランス・イギリスに次いで第5位、やがてオランダにも追い越されそうです。

ODAは軍隊を派遣するのとは異なる日本ならではの人的貢献のスタイルです。アフリカでも、南太平洋でも、世界の隅々で専門家達が現地の人々と共に働き、技術指導をしています。そこでは多くの若者が海外青年協力隊の一員として活動しています。上から目線ではなく、現地の人々と同じ目線に立って汗を流す。こういうやり方は他の先進国にみられないことであり、日本の誇りです。

2010年5月にタンザニアで開かれたアフリカ開発会議閣僚級会合の席では、キクウェテ大統領は日本によるアフリカ支援について「日本ぐらいきちんと約束を守ってくれる国はない。技術移転や投資など、これからも日本に大いに期待している」と絶賛しました。

また、最近の例としては、昨年11月ブータン王国のワンチエク国王と王妃が国賓として日本を訪問されました。ブータンはヒマラヤ山脈の南側に位置する、九州とほぼ同じ面積の国土に、岡崎市と豊田市を合わせた人口より少ない70万人の人が住んでいます。その小さな国の国王夫妻の来日で、にわかに注目された言葉が「GNH(国民総幸福)」という指標で、まだ耳に新しい言葉です。これは先代の国王が始まめ、1970年代から続いている施策であります。東日本大震災直後から、ブータンでは国王の指示で、国土に点在する寺々で灯明が灯され、祈りが捧げられたそうであります。そして、財政的に決して豊かとは言えない政府が、いち早く義援金の拠出を申し出ました。これは国交樹立以来25年に及ぶ、日本の援助・協力に感謝したものでありました。

このように世界の途上国から感謝されている日本であります。政府からの援助は毎年減少しています。私達ロータリーの援助は、一つ一つは小さな金額ではありますが、米山奨学生

制度と共に貴重な存在になってゆくものだと思います。どうか各クラブにおかれましては、より一層のご活躍を祈念いたします。

これより4クラブからの活動報告がございますので、ご清聴の程よろしくお願ひいたします。

最後に蛇足ではありますが、最近入手した文章を読ませていただきます。自然災害を除き、安心安全という点では、日本は世界に誇るべき国がありました。しかし近年では、親が子供を殺したり、またその逆があつたり、窃盗や振り込め詐欺など後を絶ちません。日本人の心の荒廃が進んでいるように感じます。三ツ子の魂100までというように、幼少の頃身につけた習慣は、とても大事だと思います。学校でも道徳教育には力を入れていますが、家庭での躾はもっと大切なことです。私の息子が一年生の孫に読ませている文章です。

読ませていただきます。

「かみさまとのおやくそく」

おおむかしに、わたしたちのそせんが、にっぽんと
いくくにをつくったとき、こころのきれいなひとたち
がすむ、りっぱなくににしようとおもいました。

そしてみんなが、そのきもちをたいせつにして、こ
ころをひとつにしてがんばったから、いまにほんが
あるのです。

それはとてもほこらしいことです。

みなさんはおとうさん、おかあさんをたいせつにし
て、きょうだい、しまいはたすけあいましょう。

おとうさん、おかあさんはなかよくしましょう。

ともだちはたいせつにして、いじわるをしたり、う
そをいってはいけません。

いばったり、じまんしたりせずに、こまっている
ひとがいたら、たすけてあげましょう。

べんきょうは、なまけずに、いろいろなことをおぼ
えたり、かんがえたりして、かしこくなりましょう。

ひとのことをうらやましがつたり、ひがんだりせず
に、すすんでみんなのためになることをしましょう。
するをしたりせずに、きまりはきちんとまもりま
しょう。

もし、たいへんなことがおこったら、ゆうきをだし
てみんなのためにがんばりましょう。

このおやくそくは、むかしから、みんながだいじに
してきました。

みんながおおきくなっても、がいこくにいっても
かわらないほんとうにだいじなことですから、みなさ
んも、このおやくそくをまもって、りっぱなひとに
なってください。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

クラブ活性化のために
「豊田西ロータリークラブ
会員状況の報告」



豊田西ロータリークラブ会長 中川俊治

I. 会員数の推移

この20年間、第2760地区はクラブ数は11増えましたが、会員数は逆に減少し、殊にこの10年間は1166名も急減しました。しかし、当クラブは、この間に会員数を6名増やしております。当クラブは、豊田RCをスポンサークラブに1970年8月24日にチャーターメンバー29名で創立しました。3年で会員数

を50名にし、1987年に100名の大台に乗せました。その後100名前後で推移していますが、1996年と1999年に105名がありました。1987年を境に以前を会員増強期、その後を定期期という事ができます。

第2760地区 会員数の推移

年度 (過去10年推移)	クラブ数	会員数	クラブ平均人数	豊田西 RC
1991-1992年度	71クラブ	5,658名	79名	95名
2001-2002年度	78クラブ	5,975名	76名	97名
2011-2012年度	82クラブ	4,809名	58名	101名

II. 会員増強の取組み

1. 入会勧奨

これまで10名以上の入会年度は12回ありました。

入会理由は、①紹介者に断り辛い。②メンバーに友人。
③仕事に繋げたい。④友達作り等でした。

そこで、①入会案内のパンフレットを全会員に配布。②新入会員からの情報収集。③候補者を例会に招待。④会員増強月間で意識の醸成等をして、全会員がいつでも入会勧奨できるようにしています。入会勧奨で重要な事は、会員の44名がJCBOで16名が企業出向ですから、紹介者との関係だと考えています。JC・商工会議所・会社関係・友人等40才から50才の経営者をターゲットに推進してきましたが、専門職業人にも注目しています。

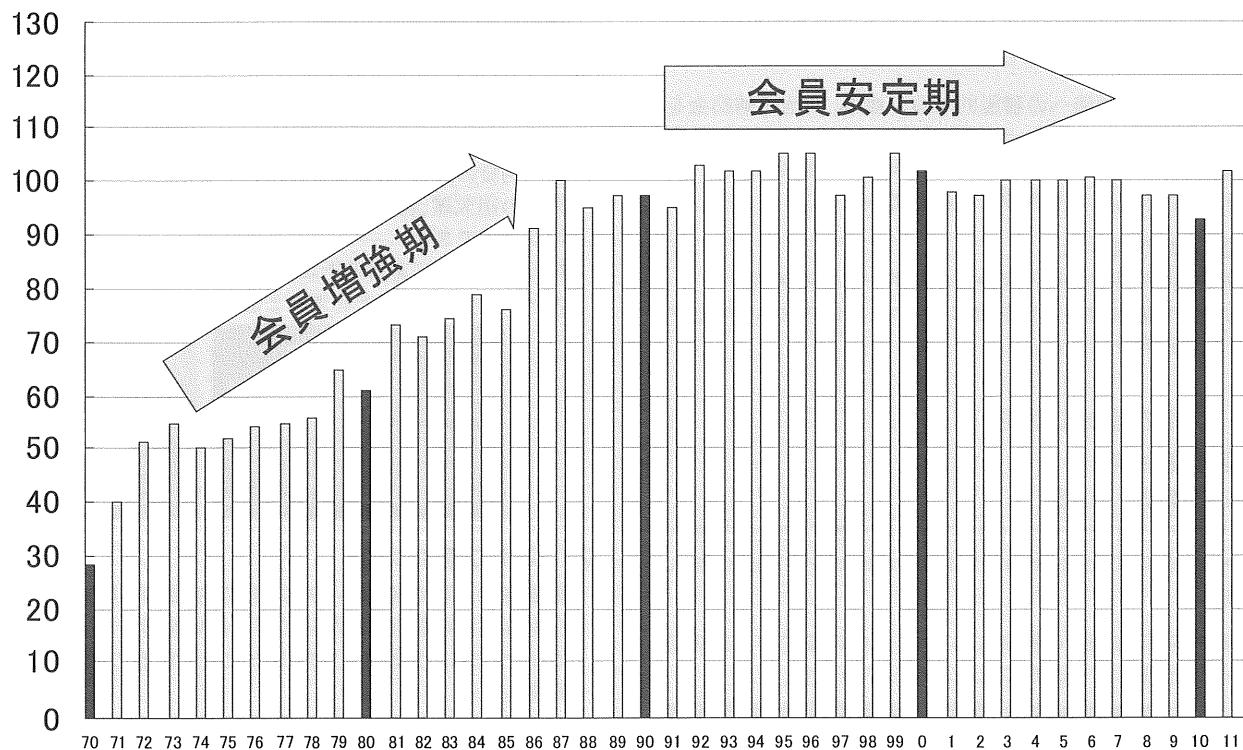
2. 退会防止

1972年は退会者0名で1990年は5名が豊田三好RCへの転籍ですから、実質退会者は0名の年度は2回でした。他方、10名以上の退会者年度は4回ありました。

退会理由は、①経営不振。②体調不良。③時間の融通がつかない。④出向者の交代。⑤仕事に繋がらない。⑥人間関係に馴染めない等が考えられます。

そこで、会員の退会防止として、①新入会員オリエンテーション時に紹介者も同席し、出席義務を強調。②出向者の交代時は引継ぎの徹底。③親睦例会・クラブ同好会(野球・ゴルフ・麻雀・旅行)小委員会内の懇親会へ積極的な参加を依頼しています。

会員数及び会員状況…会員在籍者数



III. まとめ

当クラブは25年間も会員定期が続き、会員増強の実践が期待されています。会員増強は入会勧奨と退会防止が両輪です。入会勧奨は不透明な経済状況で困難が予想されますが、これまで培った方法で邁進します。また、こんな状況だからこそ親睦の絆を深め、相互扶助の精神を發揮して退会防止に努めます。

会員増強ができる魔法の言葉。

『本腰入れて やってごらん
楽しいから』

クラブ活性化のために

「豊田中ロータリークラブ 活動報告」



豊田中ロータリークラブ会長 浅岡多田志

1. 会長方針

- ・会長方針テーマ「クラブを愛し！一隅に光を！」を掲げ活動しています。
- ・創立12年目を迎え、魅力あるクラブに成長してきましたが、これからの課題として活性化の維持、充実した奉仕活動の実践、会員増強が主になっています。
- ・2年前のクラブ運営改善委員会の適切な指導(例会場の移転等)により、強固な財政基盤を確立することができたので、課題の実践活動が可能となりました。
- ・そのために、会員増強への積極的な取り組み、新地区補助金を活用して「豊田加茂里親会」の支援、友好RC台中文心RCとの交流、IT化の促進、新世代との交流そして同好会活動を充実させ、親睦の和を広げることを目標に活動しています。
- ・会員増強の取り組みは、
 - ①会員増強委員長を会長と副会長がサポートする体制
 - ②豊田商工会議所青年部役員会に対して、豊田中RCのPRとアンケート実施を行った。

2. クラブ年度方針の状況報告

① 新地区補助金事業

- ・豊田加茂里親会への支援

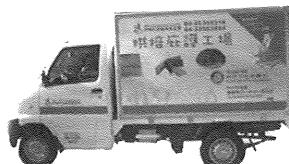
平成23年10月1日(土)～2日(日)に行われた第57回全国里親大会あいのち大会にて記録(研修材料)のためのビデオ機器の購入を補助。

- ・平成24年1月27日(金)の例会において、大会の報告および活動について卓話ををしていただくことになっています。



② 台中文心ロータリークラブとの交流

- ・3月11日東北大震災では多額の義捐金を送金して頂いた。
- ・台中文心RC5周年記念事業
台湾の身体障害者の財団法人へ共同で保冷車を寄付しました。



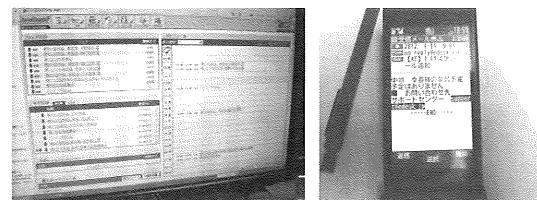
- ・台中文心RCのメンバーが、日本へ旅行で訪れた。平成23年10月14日(金)夜間合同例会を開催し交流をはかった。

- ・台中文心RCの5周年記念式典へ参加予定。平成24年4月28日。



③ IT化の推進による業務の軽減

- ・グループウェアである「e-desk」の普及促進
事務局業務の負担軽減のため、メンバーのパソコン及び携帯電話へ例会の内容・事業などの内容を発信。
例会の出欠席、同好会の出欠席などをパソコン・携帯電話から行う事ができる。
毎日携帯電話に本日の予定が入ります。
メンバーの住所・アドレスなど管理も行えます。



④ ごみゼロ運動の実施

- ・継続事業として2003～2004年度から、毎年5月30日に実施。
- ・白浜公園から豊田市駅周辺のゴミ拾いを行う。
- ・2011～2012年度は名鉄豊田市駅と環状線の間のゴミ拾いを実施。



⑤ 新世代との交流

- ・平成23年9月9日(金)豊田広域ローターアクト・豊田学生プロジェクトと夜間合同例会を開催。ライラセミナーに、豊田学生プロジェクトから2名の参加希望を得た。



3. 豊田中RC 同好会の紹介

- ・豊田中RCの同好会は7つあります、メンバーの中には全ての同好会に所属しているメンバーもいます。
- ・どの同好会も和気藹々仲良くやっています。同好会の活動が退会防止の一助になっていると思います。
- ・歴代会長経験者が、率先して同好会の責任者となって世話を引き受け活動していることも、活発化の原因だと思います。

① 野球部（24名）

- ・創立年度より設立されました。部員はクラブメンバーの半数を超えていますが、選手は11名で残りは応援団で特に財政的な支援を頂いています。
- ・シーズンは一ヶ月に1回から2回のペースで練習試合を行っています。年齢に関係なく、野球部入会当初はセカンドベースまで行くと、座り込んでいたメンバーも、今ではダイヤモンド一周も難なくこなすようになりました。中にはゴルフのあと駆けつけて夕方の試合に参加する強者もいます。

② 魚釣り同好会（20名）

- ・設立されて5年が経ちました。第1回の記念例会が豪雨と3mの波高で全員が船酔いになり、大変でした。
- ・夏休みは、奥さんお孫さん対象の渓流釣りでのバーベキュー、浜名湖での車えびや魚を網でくったり、鳥羽の筏つり、美浜の海上釣堀など子供さんに喜んでもらえる企画を計画しています。

③ ゴルフ同好会（25名）

- ・平成12年7月1日に32名で結成され、親睦・健康増進に重きを置き、会員数は現在25名ですが、発足当時の精神を受け継ぎ、4回の公式戦、非公式の練習ラウンド3回、忘年会、分区大会参加等、を行っています。自己ベストを目指して頑張る人、参加することに意義がある人、それぞれですが、和気あいあいのラウンドです。ロータリーゴルフライフを楽しみましょう。

④ グルメ同好会（37名）

- ・平成20年1月18日に29名のメンバーで発足しました。
- ・本会は年間2回を目安に開いております。主に愛知県近郊で取れる旬の食材を美味しく食べることをモットーとしております。
- ・これまでに鮎、筍、あまご、牡蠣、名古屋コーチンなど旬の時季に素材を生かした調理をお店にオーダーして美味しいと頂いて参りました。
- ・現在も旬の食材とそれに合ったお酒を求め活動いたしております。旬のものを仲間で楽しく食べられる事こそグルメだと思っております。

⑤ 写真同好会（16名）

- ・発足して5年目になります。クラブの中では一番若い同好会ですが、やる気満々の会です。
- ・四季折々絶景を求めて、今日は東に来週は西へと日本の良いポイントを撮影し楽しんでいます。
- ・クラブの行事も、我々の同好会が記録係として活躍しています。出来上がった写真が週報に掲載された時には喜びもひとしおです。

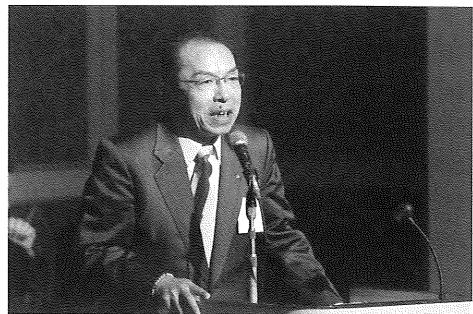
⑥ カラオケ同好会（26名）

- ・カラオケ同好会は「カラオケを通じてクラブの活性化と親睦の和を広げること」を目的に平成19年10月に発足し、毎月開催しています。
- ・会員はメンバー全員が対象で誰でも気軽に参加でき、いつでもどこでも誰とでも友達の輪を広げることができます。
- ・時にはテーマ決めた曲目を選定したり、季節に合わせた曲を歌ったり、踊ったりしています。毎回10人前後の参加者があり、皆、お酒を飲みながら大きな声で歌ったり、笑ったりと健康にもよく和気あいあいとした雰囲気の中、ストレス発散をしながら楽しいひと時を過ごしています。

⑦ 旅々同好会（23名）

- ・会員の相互理解と会員の家族との親睦を目的として設立された同好会です。
- ・今までに、「お湯につかって美味を楽しむ会」「紅葉と飛騨牛の美味を楽しむ会」「ホタル鑑賞会」「ワインを飲もう会」「そば打ちの会」「近江八幡の水郷めぐり」等々を実施してきました。
- ・今後も企画委員に楽しい企画をお願いし、出来るだけ多くの方に参加していただき、尚一層の親睦を図りたいと考えております。

クラブ活性化のために 「岡崎南ロータリークラブ 活動状況報告」



岡崎南ロータリークラブ会長 小久保文雄

1. クラブの創立

1964年(昭和39年)5月8日

岡崎ロータリークラブをスポンサーとして創立

2. 事務所

岡崎ニューグランドホテル2階

3. 例会場・例会日

岡崎ニューグランドホテル

毎週火曜日 12:30~13:30

4. 会員(4月1日現在)

正会員 97名 内女性2名

名誉会員 3名

最年長者 88歳

最年少者 37歳

平均年齢 58.99歳

5. 会長及びテーマ

小久保文雄

テーマ『和』

1. 国研交流事業

国研交流とは、旧岡崎国立共同研究機構(国研)、現自然科学研究機構の岡崎3機関である生理学研究所、基礎生物学研究所、分子科学研究所との交流事業であります。

尚、この事業は、2001-2002年度に文部科学大臣賞を受賞しております。

(1) 国研セミナー

岡崎市の小中学校の理科の先生方に3研究所の研究者達から最先端の科学技術の状況をわかりやすく紹介・説明させていただいて岡崎における理科教育の振興をはかるようにと岡崎南RCが25年前から企画・運営・推進されてきた事業であり、昨年度セミナー開催100を数え記念講演並びに記念誌を刊行いたしました。



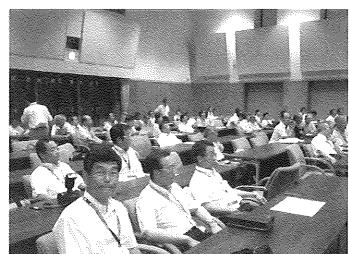
(2) 国研交流バーベキュー

研究所の研究者(特に外国からの研究者)並びに事務局の方々とロータリーメンバー及びローターアクト、インターラクターメンバーも含め交流を深める為に毎年1回行われるバーベキュー大会事業です。



(3) 国研交流例会

年1回研究所内のコンファレンスセンターにて3研究所所長持ち回りにて行う卓話例会です。



事業報告

1. 国研交流事業

2. ニューポートビーチ市、バルボアロータリークラブとの交流

3. WCS活動、韓国慶州ナザレ園慰問事業

4. 石垣ロータリークラブとの交流

5. ホタル例会の開催

6. その他

(1) インターラクト(岡崎城西高校ホスト)

(2) 岡崎ローターアクトクラブ提唱

(3) 体育振興基金による体育振興事業

7. 同好会

(1) ゴルフ同好会

(2) 遊山会(登山同好会)

(3) テニス同好会

2. ニューポートビーチ市バルボアRCとの交流事業

アメリカ、カリフォルニア州ニューポートビーチ市のバルボアRCとの交流事業です。

1982年5月中村繁男パストガバナーを親善代表として訪問し、1984年4月6日、岡崎南RC創立20周年記念式典にて、姉妹RC提携を結びました。

その年の11月27日に今度は岡崎市とニューポートビーチ市が姉妹都市提携をいたしました。その後、何十度かにわたる親善交流により、深い絆がRC、市とも築かれております。



3. WCS活動 韓国・慶州ナザレ園慰問事業

慶州ナザレ園とは、終戦時にいろいろな事情により帰国できなかつた在韓日本人夫人の保護施設です。現在24名の老夫人が園内でお世話になっております。



平均年齢は90歳に近く、園外の90名近くの同様の境遇の女性にも、送金援助しております。

南RCとしては、1990年有志にて訪問、1996年WCSとして訪問し、義援金を贈呈いたしました。以後毎年15名程度の会員により訪問しております。

4. 石垣RCとの交流事業

2008-2009年、岡崎南RC創立45周年記念事業の目玉として、石垣RCとの親善クラブ提携を結びました。石垣市と岡崎市は43年前に親善都市提携を結び、長い間親睦を深めて参りましたが、創立45周年を迎え、当クラブから「徳川家康の像」を送り、クラブ同士の新たな交流を深めようとその後交流しております。

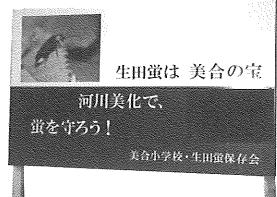
石垣ロータリークラブ創立50周年記念式典。



5. ホタル例会の開催

岡崎市立美合小学校の生田ホタル(ゲンジホタル)養殖活動の援助事業です。美合小学校とのつき合いは、1985年に始まり現在まで続いております。

毎年5月に、校長先生並びに育成担当先生、担当生徒さんをお呼びし、援助金を贈呈して、卓話ををお願いしております。



6. その他の事業

- (1) インターアクトホスト(岡崎城西高校)
- (2) ローターアクト提唱(岡崎RAC)岡崎4RCにて共同提唱
- (3) 体育振興基金
- (4) 「公益信託岡崎南RC青少年体育振興基金」

1973年、創立10周年を記念して創設した、岡崎市小中学校体育賞基金から1000万円を出資して、1985年愛知県教育委員会の許可を受け「公益信託岡崎南RC青少年体育振興基金」を設定しました。毎年その利子を基に優勝旗、レプリカ、表彰状等を小中学校体育振興のために拠出しております。尚近年は、利子が少なく元金が目減りしている状況です。

7. 同好会活動

◎ゴルフ同好会



◎遊山会(登山同好会)



◎テニス同好会



クラブ活性化のために

「岡崎城南ロータリークラブ

クラブ活性化のために」



岡崎城南ロータリークラブ会長 桐潤利次

本日は「クラブ活性化のために」というテーマについて、本年度の岡崎城南RCの活動を御報告させていただきます。尚、今回使用する音楽は、あらかじめ歌詞およびCDをガバナー補佐に送り、ガバナーの許可を得ておりますことを付け加えます。

今年度当クラブはクラブ・リーダーシップ・プランに基づき、長期目標、年次目標、従来の五大奉仕委員会を継続する中で、会員増強・ロータリー財団・広報の3項目に重点を置くという会長方針を選択致しました(表1・表2)。

前年度1月より予備理事会を招集し、前半では3重点項目の問題提起と異議ある会員のための新たな提案方法として、規定審議会・立法案提出等について検討しました。この際の資料が、後にクラブ紹介パンフレットの一部として、“クラブ要覧”となりました。

予備理事会後半では、予算編成に際し、財政健全化の検討が必要と判明しました。RI会長の「変えるべきことは変える」という強調事項の基に、ガバナーおよびガバナー補佐訪問、岡崎4RC会長・幹事会の御助言をいただき、クラブ会員および会長会の支持を受け、理事会は半年後、最終的に“人件費の見直し”を行うことができました。

本年度重点項目の一つ、会員増強について述べます。世界不況の中で、特に日本のロータリアンは著しく減少しています。退会の3大理由は、「クラブに指導性がない、魅力がない、奉仕がない」という愕然とするものでした。経済事情だけではなく、今問われているものは、「会費を払い、時間を割いても出席するロータリーの魅力、出会いとその感動がなければ会員増強はあり得ない」と、思われます。

今年度当クラブは、40代の会員が4名入会し、その内1名はミャンマーからの米山記念奨学生でした。残念ながら、年末になって、健康上の理由で退会者が出ました。

次に第二の重点項目、ロータリー財団について述べます。本年度クラブが変えることのできたものの一つに、財団への理解があります。例会長報告では財団年次寄付はロータリアンであるならば自発的に行われるべきものであることを繰り返し説明しました。新地区補助金コンサート事業の実施も加わり、その結果、本年度の年次寄付は平均100ドル以上、米山記念奨学会とほぼ同様の理解が得られ、“自分たちの財団である”という自覚と“財団に対する誇り”が芽生えつつあるように思います。

第三の重点項目は広報です。「今、ロータリーは何をしている?」この問いかけに、RI本部のあるエバンstonの知識人でも答えは返ってこない。」と、RI会長は問題提起をしています。広報の重要性はクラブにおいても同様です。今年度の方針の一つとして、HPの充

実、新聞や“ロータリーの友”に積極的に投稿することを呼びかけました。財団未来の夢計画コンサートについても、一貫して、この事業がロータリー全世界121万人の善意の寄付による財団補助金により行われることを伝え、クラブ会員にも財団事業への理解が浸透するように努めました。また、新世代対象の活動では、この事業の他に、小学生の理科の実験教室、中学生の職業体験においても、それぞれ“四つのテスト”“Million Smiles A Dayキャンペーン”的広報を行いました。

次に、本年度のクラブの活動について述べます。

クラブ奉仕では、季節感のある特別例会(これまでに七夕・納涼・月見・秋祭・紅葉・年末・新春・節分例会)と年3回の家族例会を計画しました。対外交流、同好会、趣味の会、各家庭でのファイアーサイド・ミーティングなどの会員交流も行われています。また、クラブを紹介する独自のパンフレットを作成し、前述の“クラブ要覧”はその一部を構成します。ここで、本年度クラブ内で公募した「奉仕の理想」岡崎城南RCバージョンを会場に流しながら、クラブを紹介しました。愛知県立岡崎高等学校コーラス部は、ロータリーの教育支援に感謝し、混声四部合唱のこの曲の録音に協力してくれました(写真1・2・3)。

職業奉仕では、例年の職場例会の他、本年度は会員の発案により、“中学生の職業体験”を受け入れました。

社会奉仕では省エネ共和国として環境教育支援、草刈り共同奉仕、美術展後援、中学生軟式野球支援、学校保健大会奨励賞授与等を行いました。

国際奉仕では、米山記念奨学会に比べ、ロータリー財団には会員の理解が不十分でしたが、財団コイン募金箱を新設し、チャリティゴルフも試みました。新地区補助金事業により理解が深まり、年次寄付への協力が得られました。ミャンマー教育支援を継続し、これまでに五つの図書館、井戸、建物の改修や道路の整備を行い、現在は、“奨学会KIBOH”、ミャンマーにお医者さんを育てています。14年間、現地に赴き、手渡しで支援を行ってきました。

新世代奉仕については、会員の発案により“理科の実験教室”を行って10年目になります。本年度クラブは、昨年に引き続き財団新地区補助金“未来の夢計画”に参加し、新世代を対象としたコンサートを行いました。NHK全国音楽コンクール出場を目標に現在活動中の小・中学校コーラス部17校を招待し、世界一に三度輝いたという“地域の誇り”愛知県立岡崎高等学校コーラス部87名によるコンサートを企画しました。招待した小・中学生、出演者である岡高生、さらにロータリアンとその家族、総勢600人の音楽に

よる心の交流が行われました(写真4)。

運営は、受付・会場・司会・広報すべて会員の手作りで行われました。コンサートの前後には、新聞各社にも御協力いただきました。会場では新世代に関連した活動の広報ポスターを展示し、コンサートの最後には、5分間、当クラブの奉仕活動を紹介し、ポリオ撲滅などのロータリーの広報を行いました。アンケートの結果

から、ロータリーを理解し、身近になったという方が96%に達しました。岡崎高校へは合唱台とハーモニーディレクターを贈呈しました。

専用HP(写真5)を作成し、当日の演奏曲と、合唱指導を受けながら全員で完成させた二部合唱、および実際のロータリー活動の広報等をYouTubeに掲載し、全世界で2ヶ月の間に、1万回以上視聴されています。

音楽は世界を結びます。バイロイト音楽祭にも毎年多くのロータリアンが集まります。本年度クラブは「人の痛みがわかるように Durch Mitleid(R.Wagner)」をテーマとしています。会場では、テーマの源となるワーグナーの楽劇“パルジファル”的ニーレをお聞きいただきました。家族、隣人、社会へとロータリーへの理解は拡大し、奉仕活動を継続しつつ「変えるべき事は変える」という断固としたRI会長の言葉「家族・継続・変化」に導びかれ、クラブは25周年に向けて結束し、「奉仕の理想」を求めていきたいと思います。



表1 長期目標

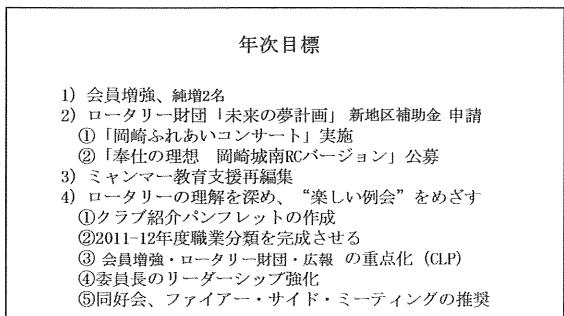


表2 年次目標



写真1 「奉仕の理想」岡崎城南RCバージョン1番
クラブは、街のほぼ中心を流れる川のほとり、城を背にして一年の四季折々を伴にします。

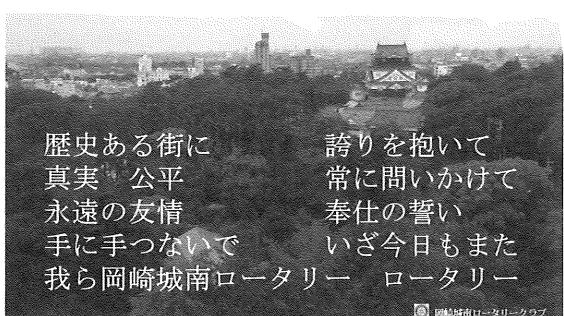


写真2 「奉仕の理想」岡崎城南RCバージョン2番
緑多き、歴史と文化の街、例会場から城が見えます。
地域が誇る岡崎高校コーラス部は、教育支援に感謝し、混声四部合唱の録音に協力してくれました。



写真3 「奉仕の理想」岡崎城南RCバージョン3番

ロータリーの標語を心に、ロータリーの魅力、その出会いと感動を求めて、親睦と奉仕に我々の結束を示し、創立25周年を誇りに思えるように、今を励みたいと思います。



写真4 岡崎ふれあいコンサート

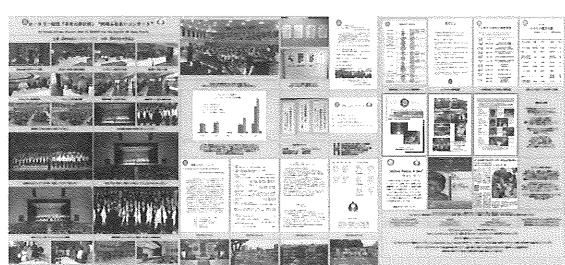


写真5 岡崎ふれあいコンサート専用ホームページ
URL <http://kiribuchi65.digi2.jp/>

クラブ活性化のために 「ガバナー補佐まとめ」

西三河中分区ガバナー補佐 横山 真久

四クラブの会長自ら発表いただき誠にありがとうございます。

九クラブでそれぞれ発表していただこうかと思いましたが、時間的にもかかり、深いお話ができないということで、今年度は四クラブの方に代表してお話をいただきました。誠にありがとうございます。

インターナショナルミーティングというのは非常に設営の難しい会議であります。発表を毎年このような形で行いますと、2年か3年で発表することがなくなつてしまります。ここ3年間は講師講演でインターナショナルミーティングを行いました。

インターナショナルミーティングの目的は会員の研修、主にロータリーの研修をするということと親睦であります。それが講師講演となりますと、なんだかよくわからなくなる、東三河では東国原さんを呼んで市民を集めてのインターナショナルミーティングを実行されました。本来でいきますとこ

れは趣旨が違っているような感じがしておりますが、同じようなことを毎年繰り返さなくてはいけないということで、非常に設営側としては困る訳であります。今年度も会議のなかで震災のこともありインターナショナルミーティングをやめてしまうかというお話も有りましたが、3年間講師講演が続きましたので各クラブの発表もいいのではないかと思い、開催することができました。

来年岡崎、その次にまた豊田と回ってくるわけですが、相当前から準備してゆかなければ、なるほどというインターナショナルミーティングができません。どういうインターナショナルミーティングを開催するのか次年度の会長さんでご協議いただき、なるほど良かったというインターナショナルミーティングになるようお願いしたいと思います。



ガバナー講評



RI第2760地区ガバナー 松前 憲典

本日は熱心にインターナショナルミーティングを開催いただきまして本当にありがとうございました。

先ほどから四クラブの代表の方のお話を承っておりますが、会員増強、クラブの活性化はどうあるべきかについて、非常に詳しくご説明いただきありがとうございました。

以前にも申し上げた事が有りましたが、クラブを公式訪問させていただきましたとき、尾張名古屋地区は比較的、私どもが発表している間にも席を立たれる方が多数見受けられると地区幹事から承っております。それに対し三河の方は誰一人としてそういう方がおられません。これは本当に三河の方の情熱があるということを以前から感じており、非常に三河の方は熱心で情熱的な方が多いということを再認識させていただきました。

現在ロータリーはいろいろな課題を抱えておりますが、ますます発展するようにそして魅力あるロータリークラブとなるにはどうしたら良いのか、本日もみなさまにお願い致しましたが、やはり勉強することも大切でございます。勉強して、そしてロータリー100年の間に先輩方が築いてきていただいたそのロータリークラブを勉強すると、なるほどということも分かってまいります。それを実践していただくとまた喜びも大きくなってきます。そしていつも申し上げておりますが、社会貢献をしてそして私たち一生を終わりたいと思いますので、どうぞ今後ともご尽力いただきますようお願い申し上げ、講評ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



次年度ガバナー補佐挨拶

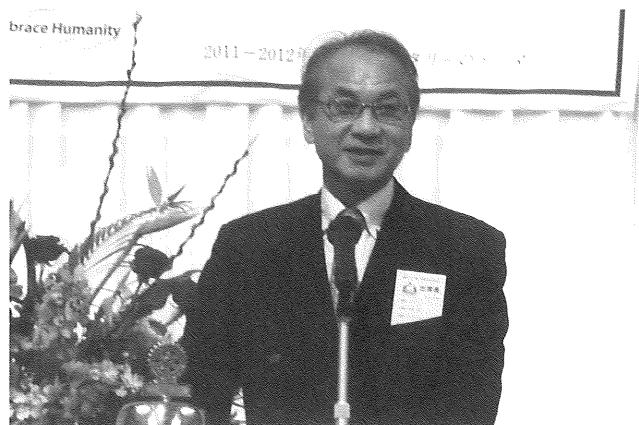


岡崎南ロータリークラブ 本間 敏

皆様こんにちは。次年度ガバナー補佐を務めさせていただきます岡崎南ロータリークラブの本間でございます。一言ご挨拶申し上げます。

まず持って横山ガバナー補佐のご指導でインターナショナルミーティングが本当に立派に行われました。確かにこの所、他もそうですが講演会が多い気が致します。久しぶりに素晴らしい活動報告を聞かせていただきまして、感動致しました。

さて私ですが、五年前にクラブ会長を終わりまして、残された人生を趣味のゴルフと山登りと、それから楽しいロータリーライフをのんびり過ごさせていただけると思っておりましたが、昨年ガバナー補佐をどうか、とご指名いただきまして本当に晴天の霹靂でございました。依頼プレッシャーと緊張感で潰れそうでございます。幸い、次年度ガバナーエレクトの千田エレクトが非常に優しい方でありますので私は後ろからついて行けるかなと、思っております。いずれにしても一年立派に勤め上げたいと切に思っております。皆様方のご支援ご協力を心からお願ひいたしますしてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



2011～2012年度
国際ロータリー
第2760地区西三河中分区

懇親会

開催日 平成24年2月18日（土）
会 場 名鉄トヨタホテル 7階



懇親会

懇親会司会／地区識字率向上委員会 酒井 法丈

開会の挨拶	I・M 実行副委員長 梅村 泰弘
乾杯	パストガバナー 斎藤 直美
懇談・会食	
アトラクション（フラダンス）	エ・カラ・ポリネシアズ
手に手つないで	ソングリーダー 荒木 徹
閉会の挨拶	I・M 実行副委員長 河木 照雄



岡崎城南ロータリークラブ

会長
副会長
幹事
次年度会長
次年度副会長
次年度幹事
次年度会計
次年度 SAA
次年度クラブ奉仕委員長
次年度社会奉仕委員長
次年度世界社会奉仕委員
次年度新世代奉仕委員長
次年度親睦活動委員長
次年度副幹事
地区クラブ奉仕副委員長
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員

次彥司康高彥修己市仁利弘浩次生彥直朗一一明
利常剛憲正武 泰幸章通義 亮吉克正友幸雄英
渕根本藤野上立山山山林鬼塚部田野倉藤 野
桐中山近牧井足中青小小九犬磯岡佐板近京星堤

豊田西ロータリークラブ

会長	治衛行
副会長	和一孝功
幹事	滝孝治
地区広報委員長	樹資
地区 RYLA 委員長	夫行也
地区新地区補助金委員会	二二久彦
次年度会長	之義彥
次年度会長エレクト	俊清
次年度副会長	宏伸
次年度幹事	芳潤
次年度 SAA	壽仁
次年度クラブ奉仕委員長	川田木
次年度職業奉仕委員長	山部
次年度社会奉仕委員長	田藤
次年度口一タリー財団委員長	端
次年度環境保全委員長	河
次年度副幹事	田澤
次年度副幹事	浦
新入会員	本藤
新入会員	永井
新入会員	浦藤
新入会員	藤谷
新入会員	藤村

岡崎東ロータリークラブ

会長
副会長
幹事
次年度会長
次年度副会長
次年度幹事
次年度会計
次年度 SAA
次年度職業奉仕委員長
次年度社会奉仕委員長
次年度国際奉仕委員長
次年度新世代奉仕委員長
次年度副幹事
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員
地区会員増強委員
地区年次寄付委員

進次廣雄男弘隆一弘寿賢久幸次樹夫規規弘志雄紀
俊泰幾政政弘隆 尚秀健祐孝雅匡正和幸義
曾山浦川川村野内野垣井駒柳井名川根間藤津本
木青三市安野宇山坂稻酒生畔安春林石中草加深櫛

豊田東ロータリークラブ

会長	一興
副会長	雄尾治雄
幹事	敬
次年度会長	勝重
次年度会長エレクト	波
次年度副会長	晴博
次年度幹事	憲功
次年度会計	哲省
次年度会場監督	邦昌
次年度副幹事	博俊
次年度副幹事	和啓
次年度クラブ奉仕委員長	文恒
次年度職業奉仕委員長	義晴
次年度社会奉仕委員長	義昭
次年度国際奉仕委員長	広介
次年度新世代奉仕委員長	雄弘
次年度口一タリー財団委員長	史士
次年度親睦活動委員長	士
地区会員増強委員会委員	前田
地区 RYLA 委員会委員	岡平
新入会員	田中
新入会員	澤今

新入会員
新入会員

司樹英雄山田吉内

会員増強委員長
出席委員長

英裕勲人彥明弘夫行司介美美仁道伸幸樹利之義雄紀彥和雄郎之美丈実藏充吉孝毅夫明高典衛三和弘太伸一巳矢也夫善雅正利正泰一啓惠雄輝勝清雅銀直直和典弘照秀泰泰忠洋尚直法平征伸正敏秀弘正万賢秀元隆幸祐勝達敦一川戸藤藤垣村村基井原田山田田野幡田藤谷谷合木原戸田地島藤藤井田村田水地浦浦浦浦木木木木木村己本井井田市井伊伊稻梅梅梅大大大大岡奥小小片加神神河河河木窪倉小後斎酒迫里柴清下杉杉杉杉杉鈴鈴鈴鈴鈴辰塚筒坪永河

豊田三好ロータリークラブ

会長
幹事
次年度会場監督
会報雑誌広報委員長
副幹事
次年度副幹事兼新世代委員長

志治之善和積
正隆喜勝伸德
藤藤野谷頭野
加近中深鬼久

新入会員
会場委員長
会長
副会長

新入会員
新入会員

豊田中ロータリークラブ

会長
副会長
幹事
次年度役員
次年度役員
次年度役員
次年度役員
次年度役員
次年度理事
次年度理事
次年度理事
次年度理事
次年度理事
地区米山獎学会副委員長
地区研修委員会
地区IT委員会
新入会員
新入会員
新入会員
新入会員

志二春子和敦郎伸美信幹博寛朗夫雄司則徳男誠
田多英幸純憲宗和一重敦幸隆和宏孝

西三河中分区幹事
地区インターラクト委員
世界社会奉仕委員長

幹事

会長エレクト ロータリー財団委員長

パストガバナー 地区識字率向上委員会副委員長 新入会員

新入会員
社会奉仕委員長
ローターアクト・青少年交換委員長
雑誌・広報委員長
地区世界社会奉仕委員会副委員長
地区グローバル補助金委員

地区米山奨学委員会副委員長
直前幹事
インタークト・RYLA 委員長
西三河中分区副幹事
地区環境保全委員会委員長
地区青少年交換委員
IT・事務局

新入会員
新入会員
I・M 実行委員長

丰田広域RAC

磯部祐輔

豊田ロータリークラブ

クラブ会報委員長
地区新世代奉仕委員長

未来の夢特別委員長
新入会員

明治夫美和徹浩
敬昭勝利和
赤秋浅天新荒伊

税臣恭郎則也生二博久浩也
主英正優雅達一康祥眞和寿

岡宅宅戸上端内田田山山邊
光三三宮村村山山横米渡

環境保全委員長
次年度副幹事

会場監督

次年度環境保全委員長

次年度会場委員長
新入会員

地区会員増強委員

夫生隆喜雄雄徳三泰伸文裕吾
富明文邦征明伸匡宏博俊新
根口部川石津井村沢井井岡
中野服早孕伴深藤藤古松丸光

次年度社会奉仕委員長
新入会員
親睦委員長
西三河中分区副幹事

次年度職業奉仕委員長
西三河中分区ガバナー補佐
米山奨学委員長
国際奉仕委員長

Preparation of a Ceremony



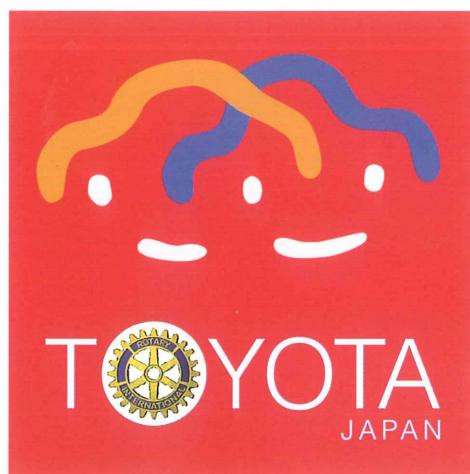
2011-2012 年度 RI 第 2760 地区西三河中分区

I・M 実行委員会 構成表

会長 梅村正明				西三河中分区ガバナー補佐事務所	
幹事 加藤直樹					
会計		I・M実行委員長 永田一夫		ガバナー補佐 横山眞久	
岡田 勝美		I・M実行副委員長 河木照雄		分区幹事 岡田勝美	
		I・M実行副委員長 梅村泰弘		分区副幹事 鈴木秀雅	
		分区副幹事 村上雅則			
				◎リーダー ○サブリーダー	
総務 (案内状、登録、受付、パンフレット作成等)					
◎渡邊 寿也 ○米山 和浩		荒木 徹 河原 秀紀 坪井 敦也 光岡 主税		小幡 銀伸 小島洋一郎 中根 富夫 下地 正孝	
		杉浦 正典 大山 輝美 杉浦 秀明 鈴木 賢三		奥田 清仁 小野 雅道 片田 直幸 太田 雄介	
式典・講演会					
◎稻垣 利彦 ○鈴木 隆太		窪田 泰和 清水 伸吉 木戸 泰彦 古沢 宏伸 筒井 達矢		倉地 忠雄 藤村 匡泰 村端 達也 新井 利和	
		早川 文喜 河合 弘義 柴田 征充 大井 啓行		三宅 英臣 伊藤 獻 大河原恵司 三宅 正恭	
懇親会					
◎宮戸優治郎 ○市川 善英		杉浦 弘高 秋田 敬治 神谷 和利 神谷 典之 梅基 一夫		鈴木 万衛 杉浦 肅 伴 征雄 井戸 雅裕 迫田 実	
		酒井 法丈 光岡 新吾 松井 博文 浅井 昭夫		丸井 俊裕 野口 明生 深津 明徳 辰巳 祐一	
記録 (報告発表、報告書作成)					
◎鈴村 幸伸		後藤 尚之 伊神 和浩 (報告発表)			
○赤松 明		山田 康二 塙本 勝己		里村 平蔵 伊藤 正人 (報告書作成)	
来賓・報道関係接待					
◎加藤 直樹		山内 一生 杉浦 敏夫		斎藤 直美 梅村 正明	
		藤井 伸三 天野 勝美		孕石 邦雄 鈴木 元弘	

編 集 豊田ロータリークラブ
I・M 実行委員会 記録委員会

I・M 実行委員長 永田 一夫
I・M 実行副委員長 河木 照雄 梅村 泰弘
記録委員長 鈴村 幸伸
記録副委員長 赤松 明
記録委員 後藤 尚之 伊神 和浩 山田 康二
里村 平蔵 山田 祥博 服部 隆
塙本 勝巳 伊藤 正人



豊田ロータリークラブ事務局

〒471-0034
豊田市小坂本町1-4-12
TEL 0565-32-5555
FAX 0565-32-5559
<http://toyotarc.jp>